

# 鴨川市指定管理者選定委員会（鴨川市地域資源総合管理施設）

## 会議録

### ■開催日時・場所・出席者

日 時：令和5年10月24日（火） 午後1時30分から午後3時00分まで  
場 所：鴨川市役所 4階 400会議室  
対象施設：鴨川市地域資源総合管理施設  
出席者：以下のとおり

#### 【出席委員】

安房農業協同組合	常務理事	飯塚 和夫
鴨川市観光協会	会長	久根崎 達郎
鴨川市農業委員会	会長	鈴木 正彦
鴨川市	副市長	平川 潔
安房農業事務所	所長	宮原 秀一

#### 【市行政関係者】

鴨川市建設経済部	部長	野村 敏弘
鴨川市建設経済部農林水産課	課長	長幡 祐自
	課長補佐	大澤 宣人
	農業振興係長	須金 幸平

### ■配布資料

- ・次第
- ・資料1
- ・資料2

### ■会議要旨

#### 1 開会（午後1時30分）

委員及び市行政関係者の紹介  
委嘱状交付

#### 2 会長・副会長の選出

鴨川市附属機関設置条例第4条第1項の規定に基づき、委員の互選により会長に平川委員、副会長に飯塚委員を選出

### 3 審査

鴨川市附属機関設置条例第5条第1項の規定に基づき、平川会長を議長として議事を進行

議長から本日の選定委員会の議事録署名人として、鈴木委員が指名された。

事務局から資料1及び2に則して審査方法等について説明

委員からの質問等はなし。

議長から選定委員会の成立について報告

#### (1) 施設所管課による説明

募集要領及び仕様書の概要、申請者の概要について説明

委員からの質問等はなし。

#### (2) 申請者によるプレゼンテーション

申請資料に基づき、申請者から約30分事業計画等について説明

#### (3) 質疑応答

①飯塚委員：長期間に及ぶ活動を継続している中で、苦勞したこと、嬉しかったことが数多くあると思う。指定管理業務を通じた地域活動を行う上で、喜ばしいこと、困難なところを知ることは必要だと考えているので、教えて欲しい。

大山千枚田保存会：都市農村交流の典型がオーナー制度だと考えている。農業に関心はあるが、農業経験のほぼない人たちが年7回程度の活動を行う中で、農業への理解、食への理解を深めていく。オーナー制度の継続率が85%を超えているのは、鴨川への愛着の表れだと理解し、大変喜ばしいと感じている。困っていることは、日本全国の中山間地域共通の課題でもあるが、後継者、担い手不足。解決法として活動当初は都市部から人を呼び込み、定年後に地域農業の担い手として鴨川に移住ということ想定していたが、今は定年延長で定年は65歳以上。そうすると、ある程度若い人を今後どう鴨川へ呼び込んでいくのかを大きな課題として考えていく必要がある。

宮原委員：オーナー制度等、今までの活動で実際に移住、定住に繋がった事例があれば教えて欲しい。

大山千枚田保存会：オーナー制度の他に、家づくり体験塾といった古民家再生事業を行うなど、移住、定住に繋がるような活動をしているが、実際に家を改修され、移住し、小規模だが農業を行っている事例もある。農業1本で生活が可能な状態が理想だが、半農半X的な形でも1人でも増やせればと思っている。鴨川市内の4集落でオーナー制度を行っており、その事務局を担当しているが、市内4集落で毎

年1組は移住、2拠点生活、別荘の所有など住み方の形は異なるが、移住と定住への実績はある。

鈴木委員：施設の土地について契約はどのような状況になっているのか。また、地目は現在どのようになっているか。教えて欲しい。

事務局：土地については、所有者から市が借り上げ、施設を含めた管理を指定管理者に委託している。現況の地目については、建物部分は宅地、附帯施設である駐車場は雑種地となっている。

久根崎委員：これから保存会として、新しい取組を行う予定はあるか。

大山千枚田保存会：周辺の自然や景観を活かした取組として、縄文体験活動などを考えている。あるいは、食に関する活動も新たなテーマを提案していきたいが、まだ構想段階である。

久根崎委員：大山千枚田は鴨川市内でも指折りの観光拠点と考えている。可能であれば新しい事業の取組は観光目線で見直していただき、そこに観光団体も一緒になって取り組んで行けたらと考えている。

平川委員：指定管理料が今後5年間も同じ金額となっているが、物価、光熱水費、人件費等が高騰している。今後、同じ指定管理料で事業を行っていく中で憂慮されている点、あるいは対策等があれば教えて欲しい。

大山千枚田保存会：自主事業の展開で補っていく予定であるが、築20年を超える老朽化した施設ということもあり、電気設備の故障を例にとっても、故障箇所のみの一時的な補修では解決できない。照明設備のLED化を検討するなど、施設全体の改修等は市でも検討していただきたい。

#### (4) 審査

まず、審査表の上表に基づき、選定基準「事業計画書に基づく公の施設の管理が市民の平等な利用を確保することができるものであるか」について審査  
審査員の総意により、選定基準に適していると評価  
続いて、審査表の下表の選定基準の内容について採点

委員長が審査結果（集計結果）を発表

特定非営利活動法人大山千枚田保存会 評価点：84点

選定委員会が定めた評価点（60点）を上回ったため、指定管理者候補者として選定

#### 4 その他

事務局から今後のスケジュールについて説明

委員からの質問等はなし。

委員長が議長の職から降り、進行を事務局に戻す。

5 閉会（午後3時00分）

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により議事録の内容について確認します。

令和5年11月7日

鈴木 正彦